

田辺三菱製薬株式会社

2011年度第2四半期 決算概況

(2011年4月1日～2011年9月30日)



田辺三菱製薬

2011年10月31日

取締役常務執行役員

小酒井 健吉

2011年度第2四半期 決算概要

(平成24年3月期)

2011年度第2四半期 決算概況

	2011年度	2010年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,003	2,046	-43	-2.1	1,990	100.7
売上原価	744	778	-33	-4.4	755	98.6
売上原価率	37.2%	38.0%			37.9%	
売上総利益	1,259	1,268	-9	-0.7	1,235	102.0
販管費	898	866	+31	+3.7	915	98.2
営業利益	360	401	-41	-10.2	320	112.7
経常利益	363	404	-41	-10.1	320	113.7
四半期純利益	199	227	-27	-12.1	165	121.0

上期予想：2011年7月29日の第1四半期決算発表時に公表した上期修正予想値

事業別売上高

【2011年度第2四半期 決算概況】

New Value Creation



	2011年度	2010年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,003	2,046	-43	-2.1	1,990	100.7
(うち海外売上高)	(131)	(137)	(-5)	(-3.8)	(125)	(105.6)
医薬品事業	1,954	1,998	-44	-2.2	1,940	100.7
国内医療用医薬品	1,756	1,791	-34	-1.9	1,765	99.5
海外医療用医薬品	91	112	-21	-19.0	85	107.6
一般用医薬品	28	28	0	+0.5	25	115.4
医薬品その他	76	65	+11	+17.7	65	118.2
その他	49	48	+0	+2.0	50	98.9

上期予想: 2011年7月29日の第1四半期決算発表時に公表した上期修正予想値

医療用医薬品 主要製品売上高

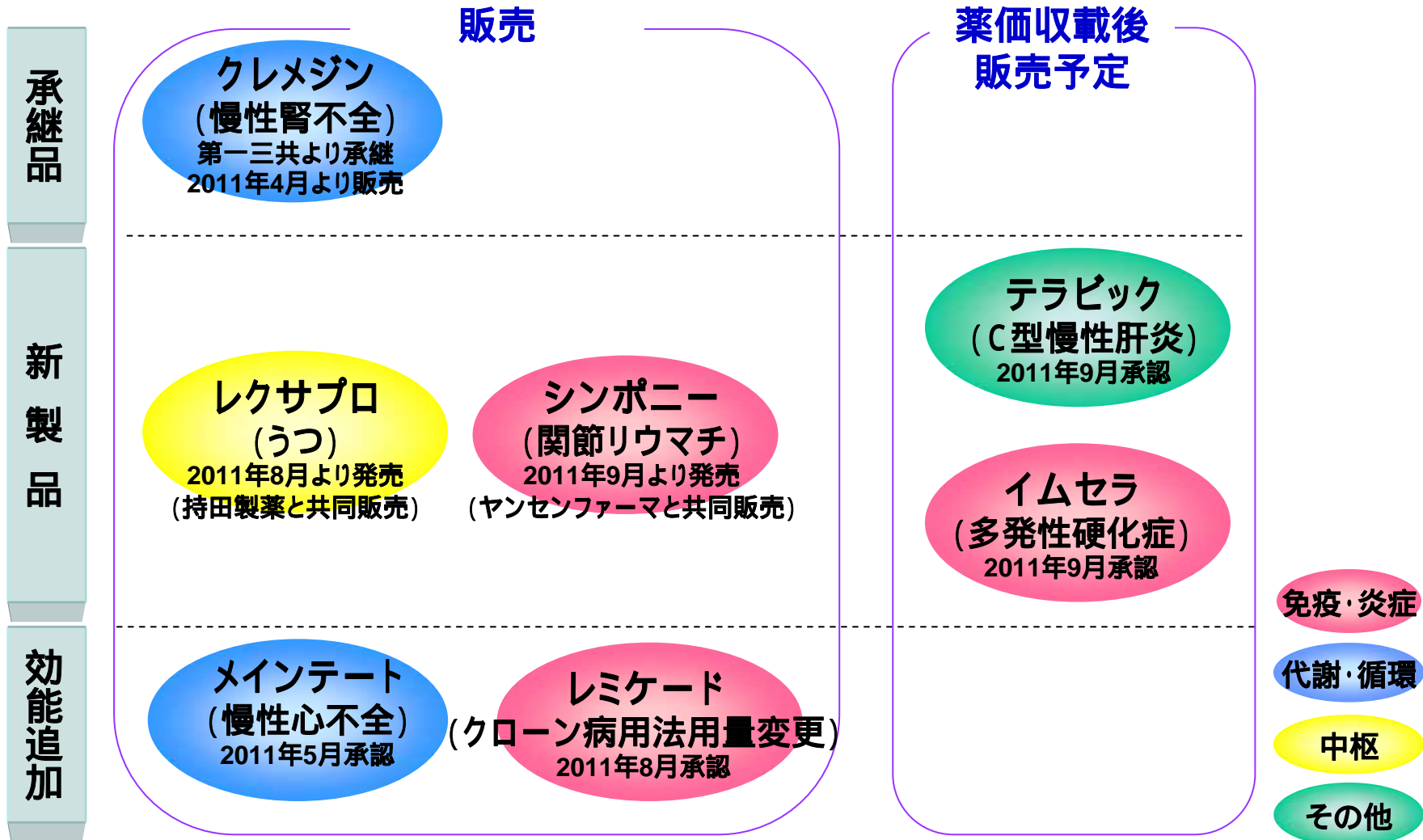
【2011年度第2四半期 決算概況】

		2011年度	2010年度	増減	
		億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品		1,756	1,791	-34	-1.9
重点 製 品	レミケード	320	293	+27	+9.3
	ラジカット	127	142	-14	-10.5
	アンプラーグ	77	82	-5	-6.7
	メインテート	65	59	+6	+10.4
	タリオン	53	47	+5	+12.0
	タナトリル	42	49	-7	-14.4
新規	クレメジン(注1)	61	-	+61	-
	ワクチン	151	150	0	+0.2
	(ミールピック)	(62)	(75)	(-13)	(-17.3)
	(ジェーピックV)	(48)	(37)	(+11)	(+31.9)
	(インフルエンザ)	(23)	(19)	(+3)	(+19.9)
	ジェネリック医薬品(注2)	82	54	+27	+51.7
	技術導出契約金等	29	13	+15	+120.8

注1: 2010年度は第一三共に販売委託していたが、同社への販売額は開示していない

注2: ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

2011年度に上市する新製品等



売上原価・販管費

	2011年度	2010年度	増減		上期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,003	2,046	-43	-2.1	1,990	100.7
売上原価	744	778	-33	-4.4	755	98.6
売上原価率	37.2%	38.0%			37.9%	
売上総利益	1,259	1,268	-9	-0.7	1,235	102.0
販管費	898	866	+31	+3.7	915	98.2
研究開発費	335	324	+10	+3.3	345	97.3
人件費	259	258	0	+0.4	255	101.6
のれん償却額	50	50	0	-0.1	50	101.3
その他	253	233	+20	+8.7	265	95.6
営業利益	360	401	-41	-10.2	320	112.7

上期予想：2011年7月29日の第1四半期決算発表時に公表した上期修正予想値

営業外損益・特別損益

【2011年度第2四半期 決算概況】

	2011年度		2010年度		増減		上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	360	401	-41	-10.2	320	112.7		
営業外損益	3	3	0					
経常利益	363	404	-41	-10.1	320	113.7		
特別損失	32	37	-4		35	95.1		
減損損失	29	-	+29					
投資有価証券評価損	0	24	-23					
その他	3	13	-10					
四半期純利益	199	227	-27	-12.1	165	121.0		

上期予想: 2011年7月29日の第1四半期決算発表時に公表した上期修正予想値

2011年度業績予想 (平成24年3月期)

2011年度業績予想

	2011年度	2010年度	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,050	4,095	-45	-1.1
売上原価	1,500	1,545	-45	-3.0
売上原価率	37.0%	37.7%		
売上総利益	2,550	2,549	0	0.0
販管費	1,870	1,783	+86	+4.8
営業利益	680	765	-85	-11.2
経常利益	680	766	-86	-11.3
当期純利益	375	377	-2	-0.7

医療用医薬品 主要製品売上高予想

		2011年度	2010年度	増減	
		億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品		3,580	3,616	-36	-1.0
重点製品	レミケード	664	604	+60	+10.0
	ラジカット	237	287	-49	-17.4
	アンプラーグ	150	164	-14	-8.5
	メインテート	134	123	+11	+9.6
	タリオン	145	134	+11	+8.3
	タナトリル	82	96	-14	-15.1
新規	クレメジン(注1)	122	-	+122	-
	ワクチン	295	296	0	-0.1
	(ミールピック)	(100)	(122)	(-22)	(-18.5)
	(ジェーピックV)	(85)	(69)	(+16)	(+23.2)
	(インフルエンザ)	(82)	(71)	(+11)	(+15.8)
	ジェネリック医薬品(注2)	173	140	+32	+23.2
	技術導出契約金等	60	24	+35	+145.7

注1: 2010年度は第一三共に販売委託していたが、同社への販売額は開示していない

注2: ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

■ 配当方針

- ✓ 当社は、将来成長のための投資を積極的に実行することにより企業価値の増大を図るとともに、安定的、継続的に株主還元を充実させていくことを基本方針としている
- ✓ 中期経営計画11-15期間では、利益成長に加え、連結配当性向(のれん償却前利益ベース)を40%を目処に引き上げ、株主還元を拡充する

	2009年度	2010年度	2011年度 中間	2011年度 (予想)
年間配当金	28円	28円	15円	30円
配当性向	39.0%	32.9%	33.7%	35.4%

配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-white gradient, starting with a solid blue on the left and fading to white on the right.

開発パイプラインの進捗状況(1)

2011年度第1四半期決算発表時点(2011年7月29日)からの主な変更点

承認取得

自社開発品

- ◆ イムセラ (FTY720 / S1P受容体機能的アンタゴニスト)
多発性硬化症 国内承認(2011年9月)
- ◆ テラビック (MP-424 / NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤)
C型慢性肝炎 国内承認(2011年9月)
- ◆ レミケード (抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤)
(効能追加)クローン病:用法・用量の変更 国内承認(2011年8月)
- ◆ 献血ヴェノグロブリンIH 5%(ヒト免疫グロブリンG)
(効能追加)全身型重症筋無力症 国内承認(2011年9月)

導出品 (JWファーマ)

- ◆ TA-1790 (PDE5阻害剤)
勃起不全 韓国承認(2011年8月)

開発パイプラインの進捗状況(2)

2011年度第1四半期決算発表時点(2011年7月29日)からの主な変更点

New Value Creation



承認申請

- ◆ MP-513 (DPP4阻害剤)
2型糖尿病 国内申請(2011年8月)
- ◆ MCI-196 (リン吸収阻害剤)
高リン血症 欧州申請(2011年8月)

臨床試験の進捗

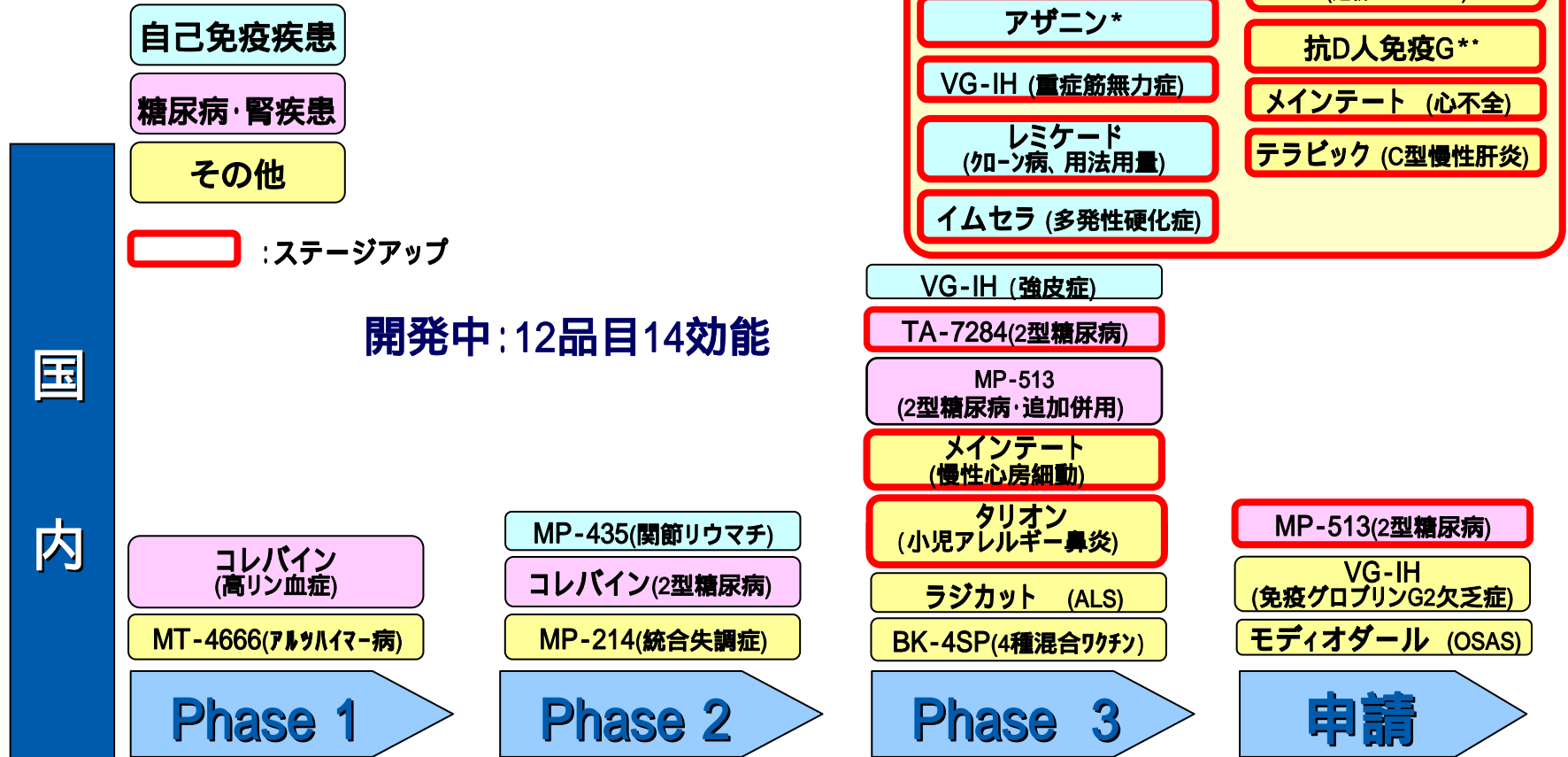
- ◆ メインテート (選択的 1遮断剤)
(効能追加)慢性心房細動 国内フェーズ3試験(2011年8月)
- ◆ タリオン (選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤)
(効能追加)小児アレルギー性鼻炎 国内フェーズ3試験(2011年9月)

New Value Creation

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

(参考) 国内パイプラインの進捗

2010年度決算発表時点(2011年5月10日)からの変更点

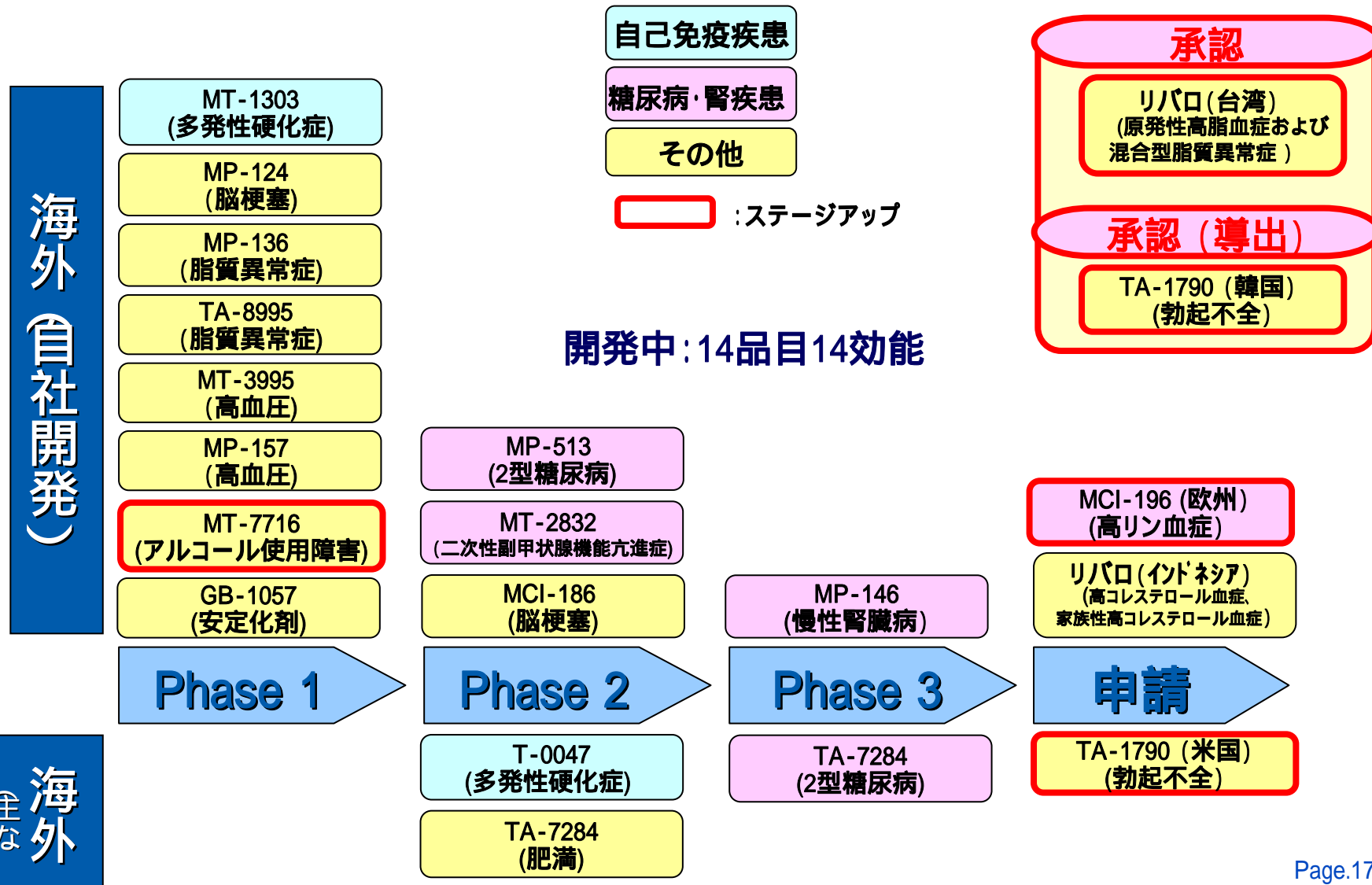


* ; 全身性血管炎、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、および難治性リウマチ性疾患

** ; 分娩後、妊娠中ないし分娩における処置、腹部打撲後等、及び妊娠28週前後のD(Rho)因子感作の抑制

(参考) 海外パイプラインの進捗

2010年度決算発表時点(2011年5月10日)からの変更点



海外
全な
導出品

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。